

市民の声で 振り返る10年 そして 未来への想い。



清野 眞木生 さん

豊田村閉村時の村長で、新「中野市」発足時の市長職務執行者を務めた。

信頼関係が生んだ「合併」

「平成の大合併」の流れの中、旧中野市と旧豊田村は、少子化や地方分権の時代を見据え、合併の道を選択しました。

合併の是非を問う住民アンケートの結果、賛成意見が多かったのは、もともと両市村には縁戚関係も多く、地形も隣接しており、商圏や高校など人の流れがあつて交流が深かったことが影響しているのだと思います。

また、実際に合併が実現したのは、両市村の議会、職員が信頼関係を深め、一体となつて数多くの協議事項をまとめてくれたこと、そして、市への吸収合併ではなく対等合併だったことが大きな要因でした。

合併の効果が出てくるのはこれから先だと考えています。人口減少時代の自治体運営はどこも厳しい状況だと思いますが、次代を担う若者の定住につながる施策が大事だと、期待して見守っています。



山田 彰一 さん
 (江部)

信州中野商工会議所会頭。合併10周年記念事業検討会の座長として市長へ提案書を提出。

昨年のえびす講の花火を、両地域から見えるように北信濃ふるさとの森文化公園で打ち上げたのはとても好評で、豊田地域の皆さんにも「自分たちの祭り」だと参加意識を持ってもらえる良いきっかけになったと感じています。合併10周年を市民全体で祝えるよう、多くの記念事業を開催して盛り上げていきたいですね。



大内 ふじ子 さん
 (涌井)

中野市豊田地域審議会10周年副会長、合併10周年事業検討会副座長などを歴任。

合併前は、「役場が遠くなつて不便」とか「細かい行政サービスを受けられなくなるのではないか心配」という声がありました。数年前の豪雨災害で道路が通行できなくなった際には、豊田支所の職員がすぐに来て対応してくれたので助かりました。豊田支所は地域の拠点として今後も残してもらいたいと思います。



清野 友之 さん
 (替佐)

公益社団法人中野青年会議所専務理事。H26中野市若者ワークショップ委員。

合併したことでコミュニティが広がり、人や事業の交流が増えたことは良かったと思います。豊田地域の自然豊かな里山、季節ごとの美しい景色などは「日本のふるさと」だと思えます。これからの中野市のまちづくりに、豊田地域が持っている資源・魅力をもっと生かしていければいいですね。



徳竹 楓 さん
 (七瀬)

H26中野市若者ワークショップ委員。魅力あるまちづくり若者会議のメンバーでもある。

合併して数年後に知り合った旧豊田村出身の友人が、ふるさとの名前が無くなったのは寂しいと話していたのが印象に残っています。若いうちは関心が地域の外へ向かいがちですが、10周年のこの機会に市民一人一人が、自分が生まれ育ったまちを見つめ直し、埋もれている魅力を掘り起こしていければいいと思います。

▼中野市合併10周年記念事業予定一覧

月	イベント名など
毎月	広報クイズ
4月	緑化苗木頒布会、故郷のふるさと音楽会、バラ苗プレゼント事業
5月	晋平・辰之メモリアル事業、山田家所蔵資料展示、2015 信州なかのバラまつり
6月	第11回斑尾ふるさとまつり、なにわコンサート2015、なかの花づくりコンテスト、第52回中山晋平記念音楽賞作曲募集
7月	第11回中野市民ビーチボールバレー大会、中野ショーションまつり、親子ふれあい魚つかみどり事業、サマーコンサート（中山晋平記念館）、夏期巡回ラジオ体操 みんなの体操会、企画展「豊田の民具」
8月	第11回中野市長杯争奪市内高校野球大会、2015 中野市民音楽祭、サマーコンサート（高野辰之記念館）
9月	オータムコンサート（中山晋平記念館）、2015 信州中野環境祭、中野創作土人形の歩み特別展
10月	中野市合併10周年記念式典 ※7日(水)、2015 健康づくりフェスティバル、晋平記念館まつり、中野人権センターまつり、北部公民館文化祭、豊田公民館文化祭、信州中野アンサンブルフェス、企画展「豊田の縄文時代」
11月	第11回中野市民ソフトバレーボール大会、2015 もみじ祭り、産業展、西部公民館文化祭、中央公民館文化祭、豊田公民館文化講演会、中野市消防団音楽隊定期演奏会、図書館まつり文化講演会
12月	高野辰之記念祭
1月	第11回中野市新春走り初め大会、第52回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会
2月	食農フォーラム、なかの21 市民講座
3月	スプリングコンサート

市民全員で喜び祝う合併10周年

ふるさとへの愛着を高め、中野市の魅力を

市内外へ発信し、さらなる発展につなげよう

市では、平成27年度を「合併10周年記念イヤー」とし、市民全員で喜び祝うため、「中野市合併10周年記念式典」をはじめとした各種記念事業（左表参照）を行います。

この節目に「故郷のふるさと」中野市について想いをはせ、本市の魅力を再認識してみませんか。

市民の皆さんが実施する事業に「中野市合併10周年記念」の冠を付けませんか

市民などにより構成された団体が自主的に開催する事業（イベントや企画）で「中野市合併10周年記念」


10年前にあなたが書いた「未来への手紙」

10年前のあなたは、誰に、どのようなメッセージをしたためましたか。

今から10年前、新しい中野市の誕生を記念して、「未来への手紙」と題し、皆さんが10年後の自分や家族、そして大切な方へ書いた手紙を、市で保管しています。

今年の11月で、封入式以来皆さんと約束した10年がたちます。

保管箱の開錠セレモニーと手紙のお届けについては、詳細が決定次第、広報紙などでお知らせします。もうしばらく楽しみにお待ちください。



の冠を使用していただける事業を募集します。応募いただいた事業は、選考の上、「中野市合併10周年記念イベント」として広報紙や市公式ホームページに掲載し、告知やPRを行います。

対象事業 平成28年3月31日までの間に実施する事業で、ふるさとへの愛着を高め、本市の魅力を市内外に発信できる事業

※公序良俗に反する事業、政治・宗教または思想活動などを目的とする事業、営利または売名を目的とする事業は対象になりません。

使用申請 市が指定する使用申請書に事業計画書を添付して政策情報課へ提出してください。

対象事業 平成28年3月31日までの間に実施する事業で、ふるさとへの愛着を高め、本市の魅力を市内外に発信できる新事業および10周年を記念して内容を拡充する事業

※公序良俗に反する事業、政治・宗教または思想活動などを目的とする事業、営利または売名を目的とする事業は対象になりません。

補助金の交付申請 市が指定する補助金交付申請書に事業計画書および収支予算書などを添付して政策情報課へ提出してください。

問い合わせ・申請先
〒383-8614 (住所記載不要)
政策情報課行政管理係
☎(22) 2111 (内線401)

市民の皆さんが10周年を記念して新たに企画・実施する事業に補助金を交付します

補助金の交付額 1事業当たり15万円を上限



中野市合併10周年

▲中野市合併10周年記念ロゴマーク。各種記念事業のパンフレットなどに使用しています。